

Windomの解答速報 杏林大学(医) 英語

I

ア ③ イ ① ウ ④ エ ④ オ ①
 カ ① キ ③ ク ③ ケ ③ コ ①
 サ ② シ ② ス ④ セ ③ ソ ③

II

ア ① イ ④ ウ ③ エ ② オ ④

III

ア ② イ ① ウ ③ エ ② オ ③
 カ ① キ ③ ク ③ ケ ④ コ ②

IV

ア ① イ ① ウ ③ エ ④ オ ①
 カ ② キ ① ク ① ケ ③ コ ①
 サ ① シ ④ ス ① セ ③ ソ ③
 タ ① チ ③ ツ ① テ ③ ト ②

解答者講評

全体としては例年並みで、一次合格には75%ぐらいが求められるだろう。

I

文法：何題か正解を選びにくいものがあったので、若干難しいと感じた人がいるかもしれない。

(エ) be struck with pity

哀れみの感情に襲われる

(キ) be pictured here being interrogated

ここで尋問されている姿を写真にとられている

(ク) feel like StV

～であるような気がする

(ケ) aspire to V

～することを熱望する

(セ) shortly before ~

～の少し前に

II

会話文：すべてわかり易い内容で、正解を出すのに苦勞することはない。

(ア) Sounds like ~ は It sounds like ~ ,

Better go ~ は You had better go ~ の省略形

III

正誤問題：例年並み

(エ) ②

個人の無意識的な習慣、癖は custom ではなく habit を用いる。

(カ) ①

「大急ぎの」の意の形容詞は hurrying ではなく hurried。

IV

英文1：「自分の利益を得るために他者を欺くことが、人間同様、他の動物にも見られること」という内容で、生物の名称が注なしで用いられていることから読みにくい印象を与えるが、内容は明確であり、設問もまぎらわしくはない。

英文2：「医師が急患の問題点をすばやく把握して、行動を迅速に取って命を救う」という話。これも内容が明確で難しくはない。(テ)は、若干まぎらわしいが、so severe that が余計な情報ということだろう。